

小学生の読書興味の実態と国語科の課題

—学校図書館における貸出図書の調査から—

小川 雅子¹⁾・中村 久美子²⁾

1) 山形大学地域教育文化学部 2) 山形大学附属小学校図書館担当

児童の読書興味については、阪本一郎(1949)の発達モデルが半世紀以上にわたって広く引用されてきた。その後、樋口洋子(1991)が新たなモデルを示したが、調査対象者が少ないことを指摘した野口武悟(2012)は、阪本の調査を追試して現代のモデルを示した。これらの研究は発達段階をジャンルによって分類しているため、多様な対象者の具体的な読書興味の実態が見えにくい。

本研究では、学校図書館の貸出図書の調査から児童の読書興味の実態を考察した。その結果、ジャンルの分類では見えなかった児童の読書興味の実態が明らかになった。そこには、児童向け図書の出版状況を含む読書環境の影響が大きく、学習漫画を含めたシリーズものの増加という近年の傾向が反映されていた。また、読書興味の発達は個人によって異なり多様であることもわかった。さらに、調査結果の考察から、小学校国語科における学校図書館の活用と読書指導の課題を明らかにした。

キーワード：読書興味、読書指導、貸出図書、学校図書館、伝記

1. 問題と目的

(1) 国語教育における児童の「読書興味」

「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年)の第二条に、子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」であることが明記されている。

学校教育における児童の読書活動については、「学校教育法」(第二十一条・五)に、「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと。」と示されている。これを受けて、「小学校学習指導要領(総則編)」には、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること。」とある。

さらに、「小学校学習指導要領(国語編)」では、各学年に、読書についての目標と内容が明記されている。第1・2学年では「読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。」、第3・4学年では「幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。」、第5・6学年では「日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。」である。読書活動が、国語科の教科内容として系統的に示されている。

このように、小学校国語科における読書活動は、学校図書館を活用し読書に親しむことが眼目となった発展的構造をもっている。読書に親しみ、自主的、自発的な読書活動を行う原動力は、児童の読書興味である。そのため、児童の読書興味の実態を知ることは、国語科における読書指導の前提として重要である。

(2) 読書興味の発達段階に関する研究

読書興味については、阪本一郎(1949)の読書興味の発達のモデルが代表的である。阪本は、

次のようなモデルを提示している。

子守り話期（2～4歳）、昔話期（4～6歳）、寓話期（6～8歳）、
童話期（8～10歳）、物語期（10～12歳）、伝記期（12～14歳）、
文学期（14歳～）、思索期（17歳～）

阪本（1954）は、学校図書館の有無と読書力の関係についても調査し、「（学校図書館のある学校）では、学年が上になるほど、その積極的影響が目だっている」と述べている。

読書興味に関する研究は、阪本をはじめとして1949年から1950年代頃に集中しており、阪本敬彦（1982）は「これら一連の読書興味研究のあと、長い間論文が途切れていた」と、述べている。読書興味をめぐる研究が長年にわたって進まなかったのは、ジャンルの設定の難しさや、小学生から高校生まで8000人以上（小学生は3600人）を対象として行われた阪本と西尾宗人、野口隆らによる調査を検証する困難さ等によると考えられる。

阪本一郎のモデルが、近年まで広く引用されている状況において、樋口洋子（1991）は3歳から15歳までの63名の児童図書館における貸出記録を分析して、次のような現代の読書興味のモデルを示した。

1) 絵本期（4～7歳） 2) 幼年童話期（6～9歳）
3) 伝承文学期（8～11歳） 4) 創作文学期（8～12歳）
5) 伝記期（9～13歳） 6) 文学期（13歳～）

野口武悟（2012）は、樋口の研究の調査対象者が少数であることを指摘して、阪本と西尾及び阪本と野口隆が行った調査を追試した。小学生・中学生・高校生を対象として行った調査の質問は、「最近読んだ本のなかで興味をもった本の著者、タイトル（5冊まで記入）」の他、「興味あるメディア」・「1日あたりの読書時間」・「1ヶ月あたりの読書冊数」である。その結果、野口は次のような発達段階のモデルを提示した。

a.絵本期（～8歳） b.童話期（6～10歳）
c.児童文学期（8～13歳） d.大衆文学期（11歳～）
e.ライトノベル期（13歳～）

野口が示したジャンルは阪本と同じものではない。野口は、「読書興味の発達段階は平板化してきており、その分、指導の困難さは年々増しているはずである。なかでも、今日、昔話や寓話、伝記などへの興味はかなり低くなっている。」と述べている。そして、阪本のモデルにあった、「寓話期」・「伝記期」を削除している。樋口のモデルには、「伝承文学期」・「伝記期」がある。

野口が、阪本の研究を追試したことは、阪本の研究が長く支持され共有されていたことの証でもある。しかし、両調査における「最近読んだ本のなかで興味をもった」という言葉はあいまいである。中学生が小学生の時に読んだ本を、高校生が中学生の時に読んだ本を書く可能性もある。また、「興味」や「本」の解釈も対象者によって異なる場合がある。それらの判断が対象者に委ねられたまま、小学生・中学生・高校生の結果を、そのまま発達段階のモデルとすることには疑問がある。また、60年以上を隔てた社会や読書環境の変化が読書興味に収束されて、「読書興味の発達段階は平板化してきており」とまとめられていることへの疑問もある。

野口の研究では、小学生から高校生にいたるまでテレビへの興味が最も高いことや、中学生以降の読書時間の二極化、平均読書冊数は小学2年生が最も多く高校3年生が最も少ないこと等も指摘されている。

（3）本研究の目的

読書興味をめぐるこれまでの研究の流れに対して、本研究では、国語教育の立場から学校図書館の活用や児童の自主的な読書活動を支援する手がかりを得るために、学校図書館の貸出図書の調査を行う。学校図書館に関する指導は1年次から行われ、その後は児童の自主的な活動の要素が多くなるので、貸出図書を通して児童の読書興味を知ることができる。児童がどのような本に興味を持ちどのようにその興味を広げていくのか、または興味を失っていくのかについて経年調

査も含めて明らかにする。児童の読書興味と読書環境の関連についても考察する。それらを通して、国語科における学校図書館の活用や読書指導の課題を明らかにする。

2. 方法

(1) 調査対象

山形市内 A 小学校

令和 2 年度 在籍児童数 589 名 / 学校図書館蔵書数 17,328 冊

(2) 調査時期

2007 年 4 月～2020 年 2 月まで

- ・2013 年 11 月～2015 年 3 月は、校舎改修工事のため貸出中止。
- ・2020 年 3 月は、全国一斉休校。2019 年度の貸出冊数は他年度より少なくなっている。
- ・在籍児童数は、調査期間中に減少している。

(3) 調査方法・内容

児童への貸出図書を年度ごとに学年ごとに調査する。

図書の分類は、A 小学校図書館による分類に従う。

3. 結果

(1) 貸出図書の変化

阪本・西尾(1956 b)と野口(2012)の調査では、小学 1 年生は対象外である。しかし、小学校では 1 年生から図書館の活用指導が始まるので、本調査では 1 年生から貸出図書を調べた。

2019 年度の児童を中心としながら、他年度の結果と比較していく。まず、2019 年度の 1 年生と 6 年生について、貸出回数の多かった図書を、10 年前(2009 年度)と比較した。

表-1 は、「1 年生の貸出図書(上位 10 位)の比較:2009 年度と 2019 年度」である。

表-2 は、「6 年生の貸出図書(上位 10 位)の比較:2009 年度と 2019 年度」である。

1 年生でも 6 年生でも、10 年前とは貸出図書がすっかり変わっている。

そこで、2019 年度の 1 年生・6 年生の貸出図書を、1 年前(2018 年度)と比較した。

表-3 は、「1 年生・6 年生の貸出図書(上位 10 位):2018 年度」である。

2019 年度の貸出図書(上位 10 位)は、1 年前と比較しても、1 年生では 5 冊が、6 年生では 9 冊が異なっている。

(2) 「伝記」をめぐる傾向

阪本は「伝記期」を 12 歳から 14 歳とし、樋口は 9 歳から 13 歳としている。しかし、野口は「伝記」に対する興味は低くなったとして読書興味の発達段階から「伝記期」を削除している。

本調査では、伝記の貸出は 2010 年代から増えており、3・4・5 年生に多く貸し出されている。

表-4 は、「2019 年度 5 年生の 3 年次・4 年次の貸出図書(上位 10 位):2017 年度(3 年生)・2018 年度(4 年生)」である。

この学年の児童は、3 年次に 7 冊、4 年次に 5 冊の伝記が、上位 10 位の中に入っている。

表-5 は、「5 年生の貸出図書(上位 10 位)の比較:2017 年度と 2019 年度」である。

2019 年度の 5 年生では 3 冊が、2017 年度の 5 年生では 5 冊が、伝記である。

(3) 「神話」について

平成 20 年の学習指導要領改訂を受けて、平成 23 年から小学校低学年の国語教科書には「いなばのしろさぎ」や「やまたのおろち」の再話が掲載されている。しかし、「いなばのしろさぎ」を掲載している 4 社の教材文は、どれも神話性を削除して動物譚や教訓譚として書き替えた再話になっている。このような国語科の状況を受けて、ギリシア神話と日本神話の貸出状況を比較した。

表－6は、「神話」の貸出状況：2017年度～2019年度」である。

(4) 読書興味の発達

2007年度入学児童の6年間の貸出図書について、作者・シリーズ別の上位について調査した。

表－7は、「2007年度入学児童の6年間の貸出図書（作者・シリーズ別上位5位）」である。

また、2019年度の6年生について、2年次から6年次までの貸出図書の総数と分類を調査した。

表－8は、「2019年度6年生の2年次からの貸出図書の総数と分類」である。

表－7・8とは異なり、2019年度在校児童の貸出図書を調査したのが、表－9である。

表－9は、「2019年度在校児童の各学年の貸出図書（作者・シリーズ別上位5位）」である。

表－1 1年生の貸出図書（上位10位）の比較：2009年度と2019年度

2009年度 1年生				2019年度 1年生			
順位	回数	書名	著者	順位	回数	書名	著書
1	21	わかったさんのアイスクリーム	寺村輝夫	1	19	おしりたんていファイル2	トロル
2	19	わかったさんのプリン	寺村輝夫	2	18	おしりたんていファイル5	トロル
3	18	わかったさんのクレープ	寺村輝夫	3	16	宇宙の迷路	香川元太郎
3	18	ちびまる子ちゃんの学級日誌2	さくらももこ	4	15	おしりたんてい2	トロル
3	18	ほうれんそうマンのようかいがっこう	みずしま志穂	5	14	コンガらがっち1	ユーフラテス
6	17	わかったさんのショートケーキ	寺村輝夫	5	14	アバローのプリンセス エレナ	ディズニース
6	17	わかったさんのシュークリーム	寺村輝夫	7	13	物語の迷路	香川元太郎
6	17	ゲド戦記	ル＝グウィン	7	13	動物の迷路	香川元太郎
6	17	こうえんのシロなつのがみ	わたなべひろみ	7	13	コンガらがっち3	ユーフラテス
10	16	マヤイのおもちやさん	寺村輝夫 永井郁	7	13	妖精の国1001のさがしもの	ジリアン・ドハーティ
10	16	マヤイのとけいやさん	寺村輝夫 永井郁	X			
10	16	マヤイのケーキやさん	寺村輝夫 永井郁				
10	16	こうえんのシロほしまつり	わたなべひろみ				
10	16	かいけつゾロリとなぞのまほう少女	原ゆたか				
10	16	かいけつゾロリとなぞのまほう少女	原ゆたか				

表－1の1年生への貸出図書（上位10位）については、2009年度と2019年度で共通している図書はない。

40位まで見ても、同じ図書がない。

表－2 6年生の貸出図書（上位10位）の比較：2009年度と2019年度

2009年度 6年生				2019年度 6年生			
順位	回数	書名	著者	順位	回数	書名	著書
1	20	ぼくらシリーズ 5 ぼくらのデスマッチ	宗田理	1	18	ふしぎ駄菓子屋銭天 堂 6	廣嶋玲子
1	20	神隠し三人娘	赤川次郎	2	16	サーティナイン・ク ルーズ 1 骨の迷宮	リック・ラ イオダン
3	18	ぼくらの家出 3days	さとうまき こ	3	14	五年霊組こわいもの 係 I	床丸迷人
4	17	ぼくらシリーズ 6 ぼくらの秘島探検隊	宗田理	4	13	ふしぎ駄菓子屋銭天 堂 9	廣嶋玲子
5	16	ぼくらシリーズ 3 ぼくらの大冒険	宗田理	4	13	ガフルの勇者たち 悪の要塞からの脱出	キャスリン ・ラスキー
5	16	ぼくらシリーズ ぼく らと七人の盗賊たち 4	宗田理	6	12	ふしぎ駄菓子屋銭天 堂 8	廣嶋玲子
5	16	神童	赤川次郎	6	12	ふしぎ駄菓子屋銭天 堂 11	廣嶋玲子
8	15	ぼくらシリーズ 2 ぼくらの天使ゲーム	宗田理	8	11	都会のトム&ソーヤ 1	はやみねか おる
8	15	ぼくらシリーズ 7 ぼ くらの危バイト作戦	宗田理	8	11	源氏物語（つばさ文 庫）	越水利江子
8	15	ぼくらシリーズ 8 ぼくらのC計画	宗田理	10	10	サーティナイン・ク ルーズ 12	ゴードン・ コーマン
8	15	怪盗クイーンの優雅 な休暇	はやみねか おる	10	10	サーティナイン・ク ルーズ 21	ジェフ・ハ ーシュ
X				10	10	サーティナイン・ク ルーズ 25	ゴードン・コ ーマン
				10	10	ブッダ 1 カピラヴ アストウ	手塚治虫
				10	10	ストーリーで楽しむ 日本の古典 7 今昔 物語	令丈ヒロ子
				10	10	都会のトム&ソーヤ 3	はやみねか おる
				10	10	トム・ソーヤの冒険	マーク・トウ ェイン

表－2の6年生への貸出図書（上位10位）についても、2009年度と2019年度で共通している図書はない。

作者が同じ場合でも、作品が異なっている。はやみねかおるの作品は、2009年度と2019年度で作品が異なっている。

2019年度10位の令丈ヒロ子は、2009年度の27位にも出てくるが、作品（『ダイエットパンチ！③』）が異なっている。

1年生と同様、40位まで見ても、同じ図書はない。

表－3 1年生・6年生の貸出図書（上位10位）：2018年度

2018年度 1年生				2018年度 6年生			
順位	回数	書名	著者	順位	回数	書名	著書
1	26	おしりたんていファイナル1	トロール	1	17	妖怪アパートの幽雅な日常1	香月日輪
2	20	物語の迷路	香川元太郎	2	15	怪人二十面相	江戸川乱歩
2	20	プリンセス★マジック1	ジェニー・オールドフィール	3	14	少年探偵団	江戸川乱歩
4	19	プリンセス★マジックティア	ジェニー・オールドフィール	4	13	ぼくらの七日間戦争	宗田理
4	19	おしりたんていファイナル6	トロール	4	13	日本の歴史1 日本ののはじまり	山本博文監修
4	19	コンガラガっち5	ユーフラテス	4	13	探偵チーム KZ (カッツ) 事件ノート4	藤本ひとみ
7	18	ほねほねザウルス4	大崎悌造	4	13	妖怪アパートの幽雅な日常4	香月日輪
7	18	ほねほねザウルス6	大崎悌造	4	13	コンビニたそがれ堂1	村山早紀
7	18	ほねほねザウルス15	大崎悌造	9	12	ざんねんな偉人伝	真山知幸
7	18	宇宙の迷路	香川元太郎	9	12	五年霊組 こわいもの係4	床丸迷人

表－4 2019年度5年生の3年次・4年次の貸出図書（上位10位）
2017年度（3年生）・2018年度（4年生）

2017年度 3年生				2018年度 4年生			
順位	回数	書名	著者	順位	回数	書名	著書
1	21	日本の歴史 37 戦国人物伝 島津義弘	すぎたとおる	1	15	ハムスターの研究レポート1	大雪師走
2	18	日本の歴史 53 戦国人物伝 本多忠勝	井手窪剛	2	12	世界の伝記 クレオパトラ	迎夏生漫画
3	16	日本の歴史 23 戦国人物伝 石田三成	すぎたとおる	3	11	ざんねんな偉人伝	真山知幸
4	14	世界の伝記 11 コロンブス	摩耶美紗樹	4	10	世界の伝記 ライト兄弟	たかはしまもる漫画
4	14	日本の歴史 57 戦国人物伝 今川義元	すぎたとおる	4	10	世界の伝記 3 ナイチンゲール	坂本コウ漫画
6	13	十五少年漂流記	ヴェルヌ	4	10	マンガでマスター	北神諒
6	13	日本の歴史 55 戦国人物伝 井伊直政	水田俊樹	7	9	グレッグのダメ日記10	ジェフ・キニー
6	13	三国志英雄伝1 劉備	すぎたとおる	8	8	世界の伝記 15 ガンジー	たかはしまもる漫画
9	12	日本の歴史 51 戦国人物伝 直江兼続	加来耕三監修	8	8	日本の歴史 56 戦国人物伝 服部半蔵	水谷俊樹
9	12	自然史ミュージアウのサバイバル2	ゴムドリCO	8	8	(同順位他, 10冊)	

* 表中の伝記の番号を囲んだ。

表一 5 2019年度5年生の貸出図書（上位10位）の比較：2017年度と2019年度

2017年度 5年生				2019年度 5年生			
順位	回数	書名	著者	順位	回数	書名	著書
1	28	IQ探偵ムー3 アリバイを探せ!	深沢美潮	1	12	ふしぎ駄菓子屋銭天堂5	廣嶋玲子
2	27	世界の伝記 オードリー・ヘップバーン	清藤秀人監修	2	11	ふしぎ駄菓子屋銭天堂4	廣嶋玲子
3	24	空想科学読本 10	柳田理科雄	3	10	世界の伝記 エリザベス女王1世	迎夏生漫画
4	23	空想科学読本2	柳田理科雄	3	10	世界の伝記 ウォルト・ディズニー	中祥人漫画
5	22	IQ探偵ムー2 帰ってくる人形	深沢美潮	5	9	マジック+ツリーハウス39	メアリー・ポーブ・オズボーン
5	22	世界の伝記 ステイプ・ジョブズ	林信行監修	5	9	マジック+ツリーハウス44	メアリー・ポーブ・オズボーン
7	21	世界の伝記 13 ガリレオ・ガリレイ	田達規漫画	5	9	ジュニア空想科学読本 3	柳田理科雄
8	20	世界の伝記 アンナ・パブロワ	渡辺真弓監修	8	8	世界の伝記 ニール・アームストロング	縣秀彦監修
8	20	世界の伝記 2 アンネ・フランク	石岡史子監修	8	8	毎日かあさん(2冊)①②	西原理恵子
10	19	IQ探偵ムー 飛ばない!? 移動教室 上	深沢美潮	8	8	ふしぎ駄菓子屋銭天堂1・3・6・9・11(5冊)	廣嶋玲子
				8	8	怪談5分間の恐怖(2冊)	中村まさみ
				8	8	本の怪談シリーズ②	緑川聖司

伝記は、3年次、4年次、5年次で貸出が多い。

表一 6 「神話」の貸出状況：2017年度～2019年度

書名	2017年度(回)	2018年度(回)	2019年度(回)	備考
伝説の迷路	6	7	14	絵本
学習漫画 世界名作館 8 ギリシア神話	21	14	20	漫画
日本の神話 2 ヤマタノオロチ	3	2	1	挿絵付物語
日本の神話 4 地のそこの国	3	0	1	
日本の神話 5 ちいさな神さま	2	0	1	
日本の神話 6 ちからじまんの神さま	4	0	0	
日本の神話 10 ヤマトタケル	2	1	1	

『伝説の迷路』は、迷路の絵本である。1年生への貸出が多い。

2015年度は、ギリシア神話28回・日本神話14回、2016年度は、ギリシア神話19回・日本神話15回となっている。

『日本の神話シリーズ』（ひくまの出版・1989年）10冊

表－7 2007年度入学児童の6年間の貸出図書（作者・シリーズ別上位5位）

年度	学年	作者・作品	分類	個人の冊数	
2007	1	原ゆたか	「かいけつゾロリ」シリーズ	文学	最多 108冊 最少 27冊
		寺村輝夫	「わかったさん」シリーズ	文学	
		寺村輝夫	「マヤイ」シリーズ	文学	
		令丈ヒロ子	「いちごムース」, 「レモンアイス」他	文学	
		つちだよしはる	「もりのなかよし」他	文学	
2008	2	大雪師走	「ハムスターの研究レポート」シリーズ	自然科学	最多 181冊 最少 36冊
		ミランダ・ジョーンズ	「ランプの精」シリーズ	文学	
		三田村信行	「キャベたまたんてい」シリーズ	文学	
		斉藤洋	「コアラパーティー」他, コアラシリーズ	(絵本)	
		原ゆたか	「かいけつゾロリ」シリーズ	文学	
2009	3	(複数)	「学研まんがでよくわかる」シリーズ	社会科学・技術・産業・言語	最多 190冊 最少 36冊
		大雪師走	「ハムスターの研究レポート」シリーズ	自然科学	
		ミランダ・ジョーンズ	「ランプの精」シリーズ	文学	
		杉山亮	「名探偵」シリーズ	文学	
		(複数)	「怪談レストラン」シリーズ	文学	
2010	4	(複数)	「都市伝説」シリーズ	文学	最多 195冊 最少 30冊
		倉橋耀子	「パセリ伝説」シリーズ	文学	
		栗生こずえ	「一期一会」シリーズ	文学	
		ミランダ・ジョーンズ	「ランプの精」シリーズ	文学	
		(複数)	「学研まんがでよくわかる」シリーズ	技術	
2011	5	石崎洋司	「黒魔女さんが通る!!」シリーズ	文学	最多 172冊 最少 15冊
		松原秀行	「パスワード」シリーズ	文学	
		深沢美潮	「IQ探偵」シリーズ	文学	
		藤咲あゆな	「魔天使マテリアル」シリーズ	文学	
		(複数)	「学研まんがでよくわかる」シリーズ	自然科学・技術	
2012	6	赤川次郎	「三毛猫ホームズ」シリーズ	文学	最多 159冊 最少 4冊
		宗田理	「ぼくら」シリーズ	文学	
		はやみねかおる	「都会のトム&ソーヤ」シリーズ	文学	
		ロアルド・ダール	「アッホ夫婦」他	文学	
		藤咲あゆな	「魔天使マテリアル」シリーズ	文学	

表－8 2019年度6年生の2年次からの貸出図書の総数と分類

	2年次 (%)	3年次 (%)	4年次 (%)	5年次 (%)	6年次 (%)
(2)歴史	4.5	10.5	15.8	12.2	12.6
(4)自然科学	9.6	7.7	11.4	9.5	6.1
(5)技術	1.3	4.0	4.1	2.6	1.3
(7)芸術	1.1	1.3	1.1	1.4	1.2
(9)文学	59.4	65.0	60.0	67.5	71.9
(絵本)	22.6	8.0	4.5	3.8	5.1
その他	1.5	3.5	3.1	3.0	1.8
合計(冊数)	100 (5,125)	100 (5,322)	100 (6,926)	100 (6,243)	100 (4,412)

* 1年次(2014年度)は、校舎改修工事のため図書貸出がなかった。

* 6年次(2019年度)は、全国一斉休校のため、2020年3月の貸出がなかったため、合計冊数が少なくなっている。

表－9 2019年度在校児童の貸出図書（作者・シリーズ別上位5位）

年度	学年	作者・作品	分類	個人の冊数
2019	1	トロール 「おしりたんていファイル」シリーズ	文学	最多
		ユーフラテス 「コンガらがっち」シリーズ	絵本	81冊
		香川元太郎 「迷路」シリーズ	絵本	最少
		大崎悌造 「ほねほねザウルス」シリーズ	文学	23冊
		ディズニー 「アバローのプリンセス」他	絵本・文学	
ジェフ・キニー 「グレッグのダメ日記」シリーズ	文学			
2019	2	藤子不二雄 「ドラえもん〇〇大探検」シリーズ	歴史・自然科学・産業	最多
		ゴムドリ CO 「科学漫画サバイバルシリーズ」	自然科学	161冊
		レックス・ストーン 「ダイナソー・パニック」シリーズ	文学	最少
		大崎悌造 「ほねほねザウルス」シリーズ	文学	14冊
		ジェフ・キニー 「グレッグのダメ日記」シリーズ	文学	
2019	3	NHK 「ダーウィンが来た！」シリーズ	自然科学	最多
		(複数) 「世界の伝記」シリーズ	歴史	169冊
		(複数) 「世界名作館」シリーズ	文学	最少
		杉山亮 「あなたも名探偵シリーズ」	文学	2冊
		さくらももこ 「ちびまる子ちゃん」シリーズ	文学	
2019	4	廣嶋玲子 「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」シリーズ	文学	最多
		(複数) 「世界の伝記」シリーズ	歴史	156冊
		柳田理科雄 「空想科学読本」シリーズ	自然科学	最少
		(複数) 「科学漫画サバイバル」シリーズ	自然科学・技術	6冊
		(複数) 「名探偵コナン推理ファイル」シリーズ	歴史・自然科学・技術・産業	
2019	5	廣嶋玲子 「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」シリーズ	文学	最多
		(複数) 「世界の伝記」シリーズ	歴史	121冊
		メアリー・ホープ・オズボーン 「マジック+ツリーハウス」シリーズ	文学	最少
		柳田理科雄 「ジュニア空想科学読本」シリーズ	自然科学	2冊
		青山剛昌 「名探偵コナン」シリーズ	文学	
2019	6	廣嶋玲子 「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」シリーズ	文学	最多
		(複数) 「サーティナイン・クルーズ」シリーズ	文学	176冊
		はやみねかおる 「都会のトム&ソーヤ」シリーズ	文学	最少
		(複数) 「日本の歴史」シリーズ	歴史	2冊
		手塚治虫 「ブッダ」シリーズ	歴史	

4. 考察

(1) 貸出図書の流動性

2019年度の1年生と6年生の貸出図書を10年前と比較すると、すっかり変化している。上位40位までを比較してもまったく同じ図書がない。

2019年度の1年生と6年生の貸出図書を1年前と比較しても、1年生で5冊、6年生で9冊が異なっている。6年生では上位40位までを比較しても、同じ図書は7冊しかない。

児童の貸出図書にみる読書興味の変化の早さと大きさは予想以上である。これは児童の読書環境が年ごとに変化しているためである。年ごとに新しい本が出版され、次々と話題になっている。学校図書館では、予算の範囲内で毎年新たに話題の本を選択し配架している。学校図書館には古くからの図書もあるのに、1学年違うだけで、貸出図書は大きく異なる。貸出図書に現れている児童の読書興味は、現代社会の「今」の読書環境を反映して、流動的である。

(2) シリーズものの増加傾向

近年の児童向け図書の出版傾向として、シリーズものの増加がある。シリーズものは年ごとに新しい内容の図書が発行されるので、児童の興味は継続され内容理解も容易になる。そのため、同じシリーズの図書が継続して貸し出される傾向がある。

シリーズものの一つに学習漫画がある。近年の学習漫画はますます多様で表現も巧みになっている。自然科学、社会科学、技術、芸術、産業など、教科の枠を超えた知識が分かりやすく説明されている。国語科に関しては、代表的な古典文学作品が漫画で読まれている。

(3) 学習漫画における「伝記」の人気

2012年の野口の調査結果からは、「伝記期」が削除されている。しかし、本調査では、「世界の伝記」・「日本の歴史」シリーズの貸出が多く、児童の伝記に対する興味は高いことがわかる。これには、「世界の伝記」や「日本の歴史」シリーズが漫画であることも大きな要因である。漫画によって、現代とは異なるその時代の生活様式や様々な道具等がわかりやすくなっているため、主人公の生き方や考え方の理解が容易である。「世界の伝記」のコミック版や漫画版は複数の出版社から発行されており、歴史上の人物伝に対する興味を支えている。

阪本(1956a)は、「伝記」に関する調査を行った当時の出版状況について、「日本人の伝記は65名でている……これに対して外国人の伝記は135名でている……この数字からいえば、もっと日本人の伝記が出版されてもよいのではないかと述べている。

さらに、阪本(1956a)は、どのような人物の伝記が読まれているかについて、学年別に調べて表にしている。学年は、「小学2～4年生」・「小学6年生～中学2年生」・「高校1年生～高校3年生」の3段階に分かれている。間の小学5年生や、中学3年生は、調査対象になっていない。そこで、高校生を除いて集計すると、上位10人は、次のようになっている。

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| 1. 野口英世 | 2. 二宮金次郎 | 3. ナイチンゲール |
| 4. キュリー夫人 | 4. 豊臣秀吉 | 6. リンカーン |
| 7. エジソン | 8. ファーブル | 9. 福沢諭吉 |
| 10. 杉田玄白 | | |

阪本の調査に出てくる人物は、現代も読まれている(杉田玄白を除く)。

本調査における近年(2017年度から2019年度)に貸し出された伝記の上位10人は、次のようになっている。

- | | | |
|------------------|-------------|-------------|
| 1. ヘレン・ケラー | 2. ナイチンゲール | 2. エリザベス1世 |
| 4. ガリレオ・ガリレイ | 5. ガンジー | 6. アンネ・フランク |
| 7. 服部半蔵 | 8. ベートーベン | 9. エジソン |
| 10. ニール・アームストロング | 10. ココ・シャネル | |

同時代に活躍しているスポーツ選手の本も出版されているが、話題性が落ち着くと、歴史上の人物の伝記が読まれるようである。

(4) 「ギリシア神話」と「日本神話」

戦後の国語教育における変化の一つに、平成18年の教育基本法改正を受けた平成20年の学習指導要領の改訂がある。この学習指導要領に、「伝統的な言語文化」が位置づけられた。それは、「文化としての言語、また、それらを実際の生活で使用することによって形成されてきた文化的な言語生活、更には、古代から現代までの各時代にわたって、表現し、受容されてきた多様な言語芸術や芸能など」である。そして、小学校低学年の内容に「神話」が明記され、教科書には「いなばのしろうさぎ」や「やまたのおろち」の再話が掲載された。しかし、前述したように、「いなばのしろうさぎ」の4社の教材文は、どれも原典である『古事記』の内容を書き換えた動物譚・教訓譚となっていて、国語科では、神話を知る機会はほとんどない。

漫画であるギリシア神話の貸出と比較してその半分から5分の1以下ということに、国語科としての課題もある。

(5) 読書興味と貸出冊数の個人差について

児童の読書興味は、その時の出版状況や話題等、様々な外的要因の影響を受けている。そのため、「表-9 2019年度在校児童の貸出図書（作者・シリーズ別上位5位）」を見ると、その年に話題になっている図書が複数の学年にわたって広く貸し出されている様子がわかる。

児童の平均貸出冊数を求めると、個々の児童の実態が見えなくなる。しかし、「表-7」・「表-9」でわかるように、貸出冊数の個人差は大きい。

2018年度6年生の貸出最多児童（A児）は、1年次から5年次までは50冊前後であったが、6年次に増えて159冊になった。また、貸出最少児童（2名）は、1年次では、37冊（B児）・44冊（C児）であったが、2人とも5年次から減少して6年次の貸出冊数は14冊だった。

2019年度6年生の貸出最多児童（D児）と最少児童（E児）は、2年次の貸出冊数が42冊（D児）と41冊（E児）でほぼ同じだった。しかし、3年次から増加と減少に分かれ、6年次の貸出冊数は、D児が176冊、E児が2冊となった。

このように児童の読書興味は、発達ともに強化されたり失われたりして多様に展開している。

中村久美子は個々の児童の好みや感想を受け止めながら無理のない支援を行っている。休み時間に図書室に来る児童は、本を捜したり下級生の質問に答えたり図書案内のカードを作成したりと、生き生きと活動している。中村の雰囲気づくりが児童の主体的な活動を支えている。中村は、担任との連携による学級への貸出活動の成果や家庭の読書環境の影響等も指摘している。

(6) 図書館における児童の活動について(中村久美子)

① 児童との関わりについて

子どもは、「紹介される本は、挑戦して全部読む子ども」や、「自分は読まないが周りの子どもに紹介する子ども」など、個人によって違うので、子どもに応じた言葉かけをしている。また、本を紹介しても読まない子や、面白くなかったと言う子どもには、理由を聞く。子どもに応じて、別の図書を薦めたり、時間をおいて様子を見たりする。

図書を借りない子は、借りるという習慣が形成されていない。また、潔癖症で、他人の本に触れないという子どももいる。

② 児童の読書興味について

子どもたちは、世相を映す鏡のようなものであるから、どうしても今売れ筋の本ばかりにいきがちである。そこから枝葉を広げた読書に誘引する事に力を入れたいと考えている。それには、雑談が効果的で、子どもの話す日常の中から言葉や事柄を拾い、本のススメに活かしている。

その中で、名作といわれる図書も授業と並行して、たとえば、同じ作品でも書き手、編者、出版社など、異なるところにふれながら紹介をしている。しかし、名作は漫画になっていることもあり、なかなか難しいと感じている。今後の課題である。

③ 図書の整備について

子どもたちは休み時間などを利用して、図書室に用意されている本のカタログの中から、図書室に入れてほしい本の要望を書く。予算があれば、できる限り特に未配架本を中心に選書している。教員の依頼によって、同じ本を学級の人数分そろえることもある。司書の仕事上、古くなった本や破損したものは、教員と相談して、随時買い換えている。指定図書・課題図書は入っているが、読まれる本と読まれない本の差が大きい。

5. 国語科の課題

児童の読書興味をめぐる調査から、国語科の課題も明らかになった。

児童の読書興味は「今」の読書環境に向けられていて、読書興味の対象は常に変化している。一方で、国語教科書における文学的教材には、「大造じいさんとガン」、「ごんぎつね」、「スーホの白い馬」等、半世紀以上にわたって掲載されている教材も多い。児童が自主的に読んでいる図書と、国語科授業で時間をかけて読んでいる教材には、大きな開きがある。一方、低学年の昔話

教材の指導では、図書館の多くの昔話が学級に貸し出されたりしている。このような現実には、教科書教材の意義や学習内容、具体的な読書指導との関係等を考える上で重要な前提になる。

また、多様な学習漫画の増加は、児童の知識を豊かにする良さとともに、国語科の課題となる面もある。代表的な古典文学作品の多くが、漫画で読まれている。漫画は主に現代語の会話文によって話が展開するので、古語の響きやリズム、情景描写等にほとんどふれることなく、内容を理解したつもりになる。語彙をふやすことは難しく、言葉からイメージを描く力やイメージを言語化する力は耕されにくい。したがって、古典文学作品に対する興味をどのように喚起して、文章を味わうことの楽しさや自由に想像する喜びを意識させるかが課題になる。

貸出冊数をめぐる個人差は大きい。発達とともに読書興味が広がるだけでなく、発達とともに読書興味が失われる事例も多い。適切な時期に適切な支援がなければ、児童は読書興味を失い、それは生涯にわたる大きな損失となる可能性もある。前述したように、全体的な図書館指導がなされた1年次以降の児童に応じた支援や、高学年における読書指導が重要になる。また、3・4・5年生では文学以外の図書の貸出が増えている。図書館での調べ学習や探究学習等が効果的に行われる時期である。さらに、学校司書や司書教諭等、図書担当者と児童理解を共有して連携することが、担任や授業担当者には必要である。

本研究では児童の読書興味を貸出図書を通して検討したことによって、児童の読書興味が読書環境の影響を受けた流動性と多様性をもっていることが明らかになった。児童の読書興味は、その時々話題性や出版状況によって多様で流動的であるから、そこに生涯を生きる力に培うという目的性をもった指導がなければ、偏った読書傾向を形成することになりかねない。偏った読書活動は、問題の種となる可能性もある。

読書の機能として、楽しみ読み・調べ読み・研究読み・思索読み等が指摘されている。国語科としては、児童自身がこのような読書の機能を意識的に主体的に使い分け、人類の文化の不易と流行を見極めて自らの創造活動の素材とするような指導が必要であると考えられる。

引用文献

- 阪本一郎 (1949) 「興味とその発達」『児童の行動と発達 (下)』金子書房, pp.89-112
- 阪本一郎 (1954) 『読書の心理』牧書店, pp.202-203
- 阪本一郎 (1956a) 「伝記書による子どもの感銘」『読書科学』第3巻第3号, pp.45-50
- 阪本一郎・西尾宗人 (1956b) 「小学校児童における読書興味の発達についての一調査」『読書科学』第3巻第3号, pp.13-21
- 阪本敬彦 (1982) 「1号から50号までの心理学的研究を中心に」『読書科学』第26巻第2号, pp.85-90
- 樋口洋子 (1991) 「成長期における児童の読書興味の变化とモデル化」『図書館年報』第37巻第4号, pp.166-178
- 野口武悟 (2012) 「読書興味の発達段階モデルについての再検討」『発達研究』第26巻, pp.103-120
- 文部科学省 (2008) 『小学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版, pp.23-24

この研究は科学研究費 (課題番号 18K02607) の助成を受けたものである。